

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「駒ヶ根から世界へ！」訓練所開設40周年記念事業
事業主体 (連絡先)	駒ヶ根協力隊を育てる会 (駒ヶ根市赤須町20-1)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業 (国際交流推進の基盤づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	558,167円 (うち支援金: 418,000円)

事業内容

JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所開設40周年を記念した以下の各種事業を展開し、JICA ボランティア経験者の伊南地域への再訪の機会の創出、また地域住民との交流の機会を創出した。そして伊南地域だけでなく、広く JICA 事業の発信を実施した。

- ・映画上映会の開催
- ・料理教室の開催
- ・国際協力出前講座の開催
- ・駒ヶ根ハーフマラソン連携事業
(応援旗製作、特注ゼッケン製作)
- ・懸垂幕、横断幕の製作・掲揚



【料理教室記念写真】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①映画上映、料理教室、国際協力出前講座への参加者は、合計約200人。各事業では JICA ボランティア経験者が同席し、交流することが出来た。
- ②ハーフマラソンの応援旗で市内全域、映画上映会と料理教室のチラシは伊南地域全域への広告となり、地域住民への JICA と育てる会の取組み発信へつながった。
- ③①、②の効果により、10月開催のみなこいワールドフェスタへの参加者が昨年の3,000人から3,500人へ(16%増)大きく増加した。結果、JICA ボランティア経験者の伊南地域への再訪と、他地域への発信、地元住民の参加を促すことが出来た。

【目標・ねらい】

- ①多様な地域住民の参加により、今後の活動へ活きる繋がりを創出
- ②地域住民と JICA ボランティア経験者との交流の機会を創る
- ③広く JICA 事業を発信し、JICA と訓練所を身近に感じてもらう

※自己評価 **【A】**

【理由】

当初計画では会員の5%増(23人)を設定していたのに対し、会員の増減はないが、各種事業の参加者数と、みなこいワールドフェスタへの参加増が想定以上のため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・各種事業の参加者は、当団体の事業に限らず駒ヶ根市の開催する国際交流推進事業など様々な場面でもお見かけする。本事業がきっかけになった部分もあることが推察されるため、今後も継続的に JICA 事業の発信と JICA ボランティア経験者との交流が図れる機会を提供したい。その先には訓練所の存在と JICA 事業を地域の特色、宝とした地域の活性化を実現したいと考える。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)



【料理教室の様子】



【映画上映会開始直前の様子】



【国際協力出前講座の様子】



【ハーフマラソン応援手旗】



【ハーフマラソンゼッケン】



【懸垂幕設置後】



【横断幕設置後】